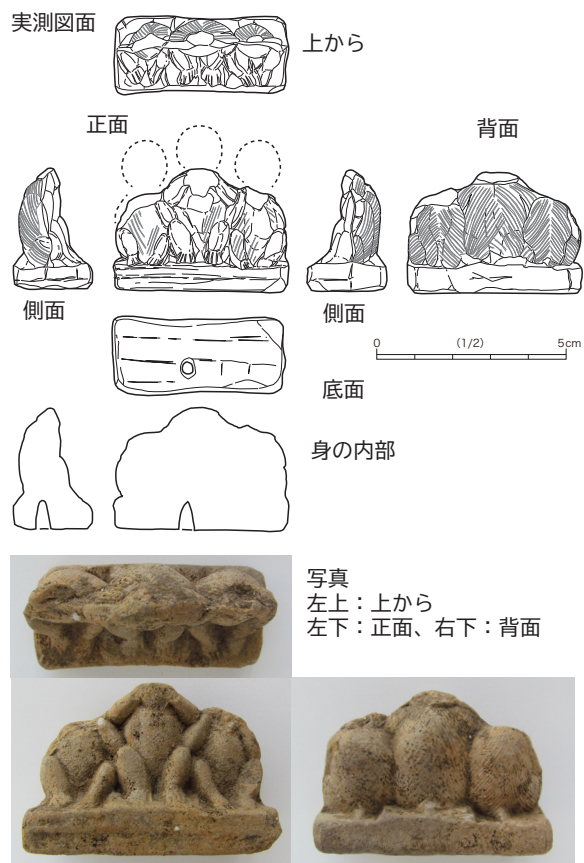


昨年度調査の出土資料から

昨年度の発掘調査では、古墳時代以降、江戸時代・明治時代にかけての遺構・遺物が見つかりましたが、特に犬山城主成瀬家の屋敷地（成瀬隼人正中屋敷）であった江戸時代の資料が数多く見つかりました。ここでは、「見ざる・言わざる・聞かざる」の教えを示した三猿を象った土人形について紹介します。

横五センチほどの小さな土製品に、三体が形作られています。それぞれ体のラインや毛の表現からサルと考えられます。頭部は欠損していますが、前足（腕）の位置などから、「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿を表現したものと考えられます。当時の玩具として作られたものですが、「悪いことを見ない、言わない、聞かない」という教えは、当時の子育て・教育においても重要視されたようです。昨年度の調査区24B区（音楽棟建設地点）から出土したもので、一緒に出土した陶器などから十七世紀代のものと考えられます。



西二葉町遺跡 24 B 区出土 土人形【三猿】

調査担当職員の紹介

今年度の発掘調査は、左の職員が担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

堀木真美子【調査課長】

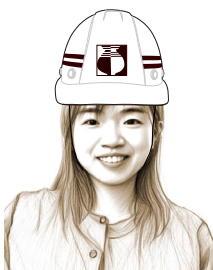
昨年度に引き続き、調整役として現場に関わります。自然科学分析や Web での情報発信を担当しています。今年度は、遺構や遺物の 3D データの公開に力を入れていこうと思っています。

川添和暁【調査研究専門員】

実際に現場に詰めて、直接発掘調査を行います。貴重な文化財を記録により保存し、後世にまで活用できるよう発掘調査に進進します。また折りに触れて、皆さまに調査成果をお知らせいたします。

柳原麻子【調査研究主事】

現場の調査に当たります。愛知県で初めての発掘調査が、この西二葉町遺跡です。どのような調査成果となるか、楽しみにしております。現場で見かけましたらお気軽にお声がけください。



西二葉町遺跡発掘通信

No. 8 令和7年5月号

編集・発行

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県富田市中須野方802の24

電話 (0567) 67-4161【管理課】4163【調査課】

ホームページ <http://www.maibun.com>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

Instagram <https://www.instagram.com/aichimaibun/>

X <https://twitter.com/aich>

印刷・協力 株式会社イビソク



あいち埋文

にしふたばちよう

西二葉町遺跡発掘通信

No. 8 令和7年5月号

西二葉町遺跡の発掘調査が始まります

みなさん、こんにちは。公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターです。愛知県立明和高等学校の校舎建築工事に伴い、昨年度に引き続き埋蔵文化財の発掘調査を実施します。調査期間は五月から十一月の予定です。調査地点は工事エリア内となりますが、学校関係者および近隣のみなさまにご迷惑をおかけしないよう十分に気を付けて作業を進めていきます。発掘調査の成果につきましては、昨年度と同様に月一回程度、本誌を通じてお知らせしていく予定です。また九月には、発掘調査現場や出土した遺物などを展示・解説する地元説明会を予定しています。

埋蔵文化財の発掘調査は、国の定める文化財保護法にのっとり実施されます。どのような仕組みで発掘調査が決まっているのかは、概要となりますが、本誌で解説しています。ぜひ一読ください。

また、発掘調査で得られた遺物や情報は、国民共有の財産です。昨年度の発掘調査で得られた遺物や遺構などの記録資料は、弥富市に所在する愛知県埋蔵文化財調査センター【県施設】で保管されています。成瀬家の家紋が入った軒丸瓦や狛犬など、一部の遺物は、館内にて展示しています。平日のみの開館ですが、入館無料ですので、お近くまでお越しの際は、ぜひともお立ち寄りください。

本年度も、よろしく願います。（調査課長 堀木真美子）

西二葉町遺跡発掘調査のお知らせ

昨年度に引き続き、西二葉町遺跡の発掘調査を左記のように実施します。近隣・関係の皆さまにおかれましては、ご理解賜れば幸いです。

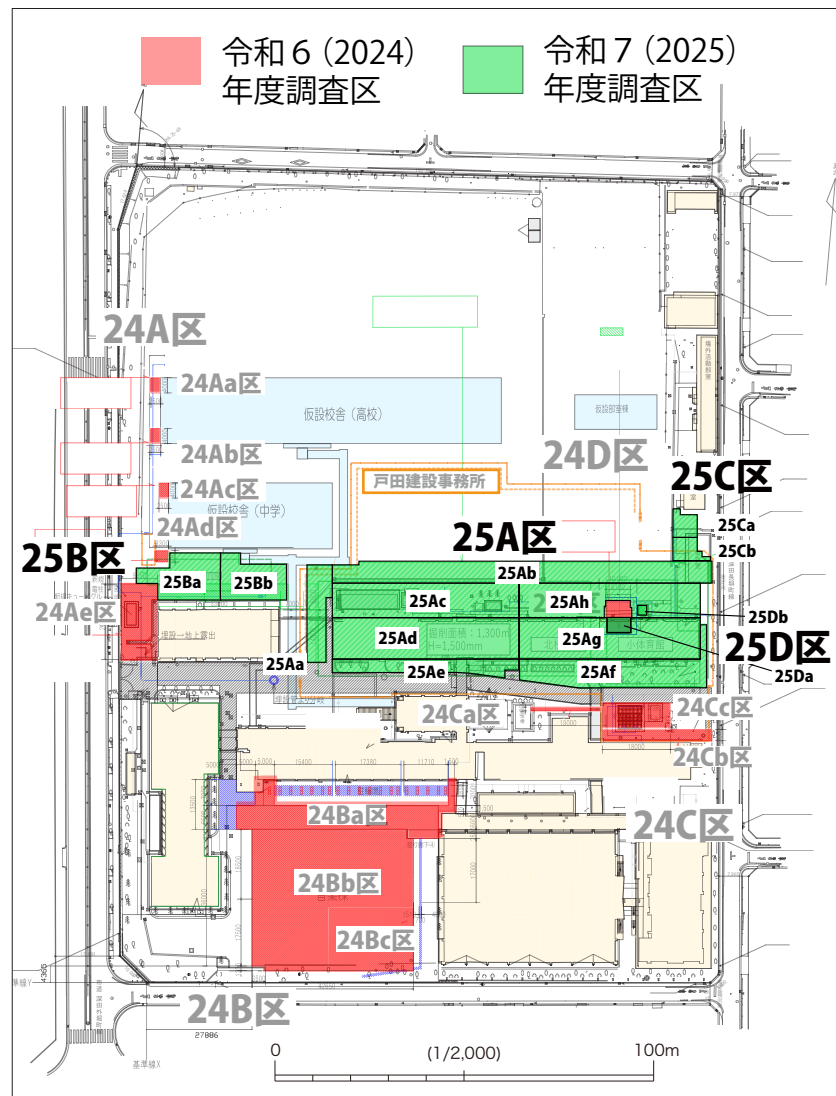
- 一、遺跡名 西二葉町遺跡
- 二、調査地 東区白壁二丁目32番6号
(愛知県立明和高等学校敷地内)
- 三、調査理由 学校校舎建て替えに伴う調査
- 四、調査予定期間 令和七年五月～十一月末
- 五、作業内容 遺跡の発掘調査
 - ①掘削（重機・人力）
 - ②遺構および遺物の出土記録
(測量・写真撮影など)
- 六、調査主体 愛知県埋蔵文化財センター

堀木真美子（調整）、
川添和暁・柳原麻子（調査）

※発掘調査は、校舎建て替え工事を実施している戸田建設株式会社の管理地内での実施となります。



西二葉町遺跡 25A区 発掘前の状況【北より】(4月9日現在)



西二葉町遺跡 発掘調査区位置図

令和七年度の発掘調査区について

今年度の発掘調査は、旧北校舎跡地とその付近【25A区・25D区】、仮設校舎（中学）と食堂の間【25B区】、東門付近【25C区】の、合計三六四六㎡の範囲が計画されています。左下図の緑色の部分が今年度の発掘調査予定地です。五月十二日から調査を開始しますが、一度に全部をまとめて調査はできないため、場所を決めて、順序よく進めていきます。緑色の中で細かい仕切りがある

のはそのためです。25A・D区は五月開始から終了予定の十一月まで、25C区は五月から六月初め頃、25B区は九月中旬から十一月までの期間で調査を予定しています。（川添 和暁）

発掘調査では、考古学に基づく手法によって調査・記録を進めていきます。堆積層は上が新しく下が古い、という原理を用いて、新しい時代のものから順番に調査をし、最後は人間の活動の跡がなくなるところまで進めていきます。そのため、調査が進むに従って徐々に掘り下がっていく様子を見ることが出来ます。今年度の調査区でも、かつての旧制中学校校舎および高校校舎跡の下に、江戸時代の成瀬家の屋敷跡が広がっている様子が見つかるとは、期待されます。

Q1、どうして遺跡調査は大事なの？

遺跡などの埋蔵文化財資料は、当時のこの場所での人々の息づかいを知る、ただひとつの直接的な証拠です。他に代わりのないものですので、現在では法律などの社会の仕組みによって、保護もしくは調査して記録を残すこととなっています。ここでは普段よくある質問に、簡単ではありますが、お答えしたいと思います。

遺跡の調査は、どこか遠いところで行われているように思われるかもしれませんが、実は遺跡は身近なところにあります。そのような地下に埋まっている文化財（埋蔵文化財）について、「文化財保護法」という法律によってその扱いが定められています。詳しくは、西二葉町遺跡発掘通信1号に記載しましたので、関心があればご覧下さい。愛知県埋蔵文化財センターHPからダウンロードできます。

Q1、どうして遺跡があると分かったの？

現在はこの都道府県でも遺跡の所在地などが記された台帳が作られています。またこれまで知られていなかったところに試し掘りなどをして、新たに遺跡の存在が明らかになることもあります。その内容を今はHPなどで見ることが出来ます。

これまでの先人たちの調査により、遺跡一覧表や遺跡分布地図などが、繰り返し作成されてきました。現在も、各自治体の担当者によって、発見の度に追加されている状況です。



愛知県ホームページ「マップあいち」
【<https://maps.pref.aichi.jp/map/view/?mid=20055>】

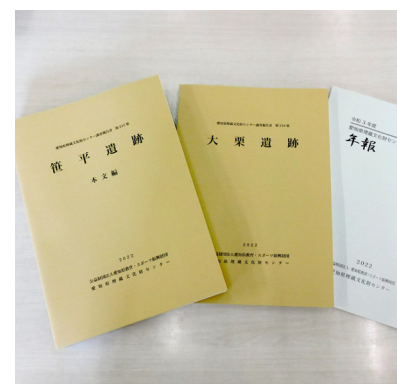


Q2、工事前に発掘調査はどうして？

西二葉町遺跡 24Bb 区の調査風景
【令和6年9月26日撮影】

Q3、調査で出土した資料はどうなるの？

遺跡での発掘調査成果をもとに、さらに室内に持ち帰り調査が引き続き行われます。これらの調査・研究資料をもとに、発掘調査報告書と言われる本を作成し、広く調査成果を公開いたします。

愛知県埋蔵文化財センター刊行物
【発掘調査報告書・年報】

埋蔵文化財調査は、発掘が終了してもすべてが完了する訳ではありません。その後の室内整理の調査によって、遺跡の詳細な内容がより明らかとなります。その成果を後世にわたって広く資料として公開・活用できるようにするために、発掘調査報告書として刊行することが、行政・学術上の責務となっています。

そのまま工事が行われると、貴重な証拠が失われてしまいます。そのため工事前に現地での調査の時間を頂いて発掘調査をします。

埋蔵文化財の情報を記録し、遺物を取りあげたりします。

建設計画時から、いろいろな関係機関との検討の上、工事が必要となる区画が決められます。その定められた範囲で、工事前に考古学的手法により調査を行います。この調査により、大事な証拠を記録に残す（保護すること）ができます。